はじめに

成田市教育委員会

教育長 関川 義雄

本年5月1日現在、本市においては、小学生7,391名、中学生3,492名、合計10,883名が市立小中学校及び義務教育学校に在籍しています。この数は、昨年より若干減少したものの、10年前の数と比較すると、小、中学生ともそれぞれ、およそ、400名ほど増加していることとなります。しかしながら、市内では、中心市街地で人口が増加している半面、高齢化とともに、過疎化が進む地域もあって、学校規模の違いが大きくなっています。そのような中、どの学校においても、地域の特色を生かした学校づくりを進め、学力の向上とともに、豊かな人間性を培うため、教育課程の編成に創意工夫を凝らしています。教育委員会では、こうした学校の支援を目的に、本年度も引き続き、外国人英語講師や学校図書館司書を全校に配置する他、学校の実情に応じて、学校サポート教員や健康推進教員、特別支援教育支援員、養護補助員、日本語教育補助員など、多くの市費負担教職員の配置を行ってまいります。この他、本年度末には、本市で4番目となる親子方式による学校給食共同調理場が美郷台小学校に整備されるとともに、橋賀台小学校の校舎大規模改造工事が完了します。

なお、令和3年4月に開校予定で、本市で2番目となる義務教育学校「大栄みらい学園」については、1年生から着用する制服も決定し、本年度からは校舎の建設工事が始まります。

教育環境の改善は、児童生徒のみならず、指導にあたる教職員の意欲を高め、結果的に教育の質の改善につながるものと考えますので、今後も計画的に整備を進めてまいります。

また、一般市民を対象にした自主的な学びの充実にも力を注ぎ、本年度も引き続き、明治大学・成田社会人大学や、成田市生涯大学院を開設するとともに、多くの方々にご利用いただいている公民館については、さらなる利用の促進のため、適切な情報発信を行うと共に、利用者の利便性を考慮した公民館運営を行ってまいります。併せて、開設から35年目を迎えた市立図書館では、図書整備はもちろんのこと、これからの図書館の在り方について、市民の皆様と共に考える講座を開設するなど、市民とともにつくる図書館を目指してまいります。

さらに、放課後子ども教室や学校支援地域本部事業などの地域学校協働活動を推進し、地域の教育力を学校教育にも反映させるとともに、関係団体とも連携し、家庭教育や子育て支援に役立つ講座や講演会を開催したりするなど、多様な取り組みを行ってまいります。